

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	田原本駅周辺の再整備によるにぎわいと魅力あるまちづくり												
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	田原本町												
計画の目標	本地区は、老朽木造住宅が集積する密集市街地であり、町の玄関口として商業業務機能や住民サービスの充実が不十分であるため整備が必要である。 再開発事業により、玄関口としての充実を図ることで、商業施設への来訪者、居住人口の回復によるまちの活性化を図り、持続可能なまちを目指しまちづくりを進める。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	3,396	A	3,396	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30		H34末
1	人口維持の指標として、当該再開発地が含まれる田原本A校区(駅周辺地区)における住民基本台帳の平成30年から平成34年の人口減少率を3%以下に抑える。(平成25年から平成29年の減少率は、4.8%) 田原本A校区の人口減少率(%) 減少率 = (平成29年12月末人口 - 平成34年12月末人口) / 平成29年12月末人口	5%	%	3%
2	にぎわいのある駅周辺まちづくりに向けた指標として、当該区域北側の道路における歩行者数を102人/8h(H29)から197人/8h(H35.1)人に増加。 再開発地北側における道路の歩行者数の増加(人/8h)	102人/8h	人/8h	197人/8h

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	田原本町	間接	(仮称)田 原本駅南地 区市街地再 開発組合	-	-	田原本駅南地区市街地再 開発事業	住宅、商業、公益施設、等 0.5ha	田原本町						3,396	1.54	未策定	
												小計						3,396		
											合計						3,396			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

田原本駅南地区市街地再開発組合において実施

事後評価の実施時期

令和2年度末

公表の方法

田原本町ホームページにて公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

令和5年度末の再開発ビル等の完成に向け、令和2年度末までに実施設計並びに権利変換計画等を計画的かつ効率よく行うことができた。令和3年度から、スマートウェルネス住宅等推進事業により引き続き田原本駅周辺の再整備を行い、持続可能なまちづくりを進める。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

令和3年度からスマートウェルネス住宅等推進事業に移行し事業を進めております。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	人口減少率	
	最終目標値	3%
	最終実績値	0%
2	増加人数	
	最終目標値	197人/8h
	最終実績値	0人/8h